

# ダイコン産地の規模拡大

県南農林事務所稲敷地域農業改良普及センター

JA 竜ヶ崎大根生産部会（牛久市）では産地の規模拡大をめざし、ネックとなっている収穫調整作業を軽減するため、市、JA と協力して補助事業を活用し、平成 24 年度に共同洗浄選別施設を導入しました。削減された出荷調整労力は序々に規模拡大に振り向けられ、作付面積は 19ha（H24）から 42ha（H26）に大幅に拡大しました。現在は、共同洗浄選別施設の効率的な運営のために、班体制を整備し、施設 GAP の取り組みの推進や、高品質安定生産に向けた優良品種選定、作期拡大等を支援しています。

## 共同洗浄選別施設の導入による規模拡大の取り組み

「強い農業づくり交付金」を活用し、平成 24 年に共同洗浄選別施設を導入しました。この施設の導入により、出荷調整作業に費やしていた労力を栽培規模の拡大に振り向けることが可能となりました。

規模拡大を推進してきた結果、作付面積は 19ha（H24）→ 29ha（H25）→ 42ha（H26）と大幅に拡大しました。



施設 GAP 内部監査の様子



導入した共同洗浄選別施設の様子

## 産地規模に応じた組織活動体制の確立

共同洗浄選別施設の効率的な運営を支援するために、部会員の役割分担を明確にするための班体制を整備しました。また、施設 GAP の取り組みを推進し、改善活動を指導しています。平成 26 年には農場 GAP についても青年部で取り組みました。

## 銘柄産地化に向けた高品質安定生産

普及センターでは、今後も優良品種選定や病害虫防除対策、土壌診断結果に基づく土壌改良と適正施肥や、作期拡大等を支援し、ダイコン経営の向上を図るとともに、JA 竜ヶ崎大根生産部会の銘柄産地化に向けて、よりいっそうの高品質安定生産をめざして取り組んでいきます。



圃場巡回の様子